

Mission

グループで川越の観光案内をせよ

生徒の3年間の流れ

ジャンプ

ステップ

ホップ

第1学年

- 『川越について知ろう』
@市立博物館 本丸御殿
- 『川越の観光客になろう』
シルバーガイドの観光案内



博物館学習

第2学年

- 『川越と京都を比較しよう』
@市立博物館 川越まつり会館 等



とうざん
川越唐棧体験

第3学年

- 実地踏査 観光案内台本作り
- 外国人向け英語台本作りと実践練習
- シルバーガイドによる指導



『川越観光サポート』



シルバーガイドによる
観光案内指導

3年間で段階的に学習する

川越市立博物館との3年間にわたる連携
学校・地域・保護者との連携
教科横断的なスクールカリキュラム

博物館が私たちの先生！ 地域密着型 総合的な学習の時間



川越観光サポート隊

川越市の
マスコット
ときも



『小江戸川越の観光案内』は私たちに

おまかせください！！

外国人でもヘッチャラさ！
英語で観光案内に
Let's try!

班で作った
オリジナルの案内板と
パンフレットで案内中



川越城・本丸御殿の案内も
生徒だけでチャレンジ！

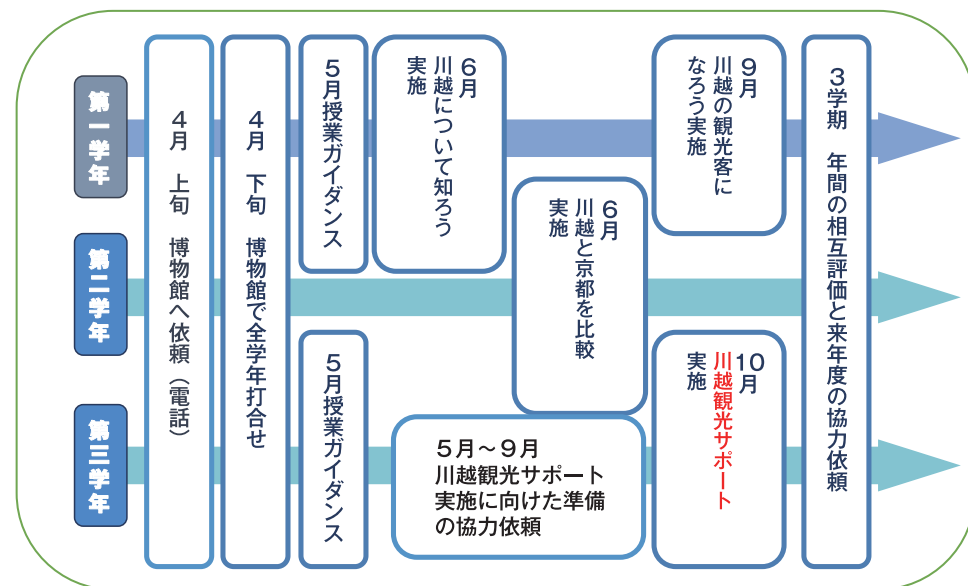


『ときも』も登場

小江戸川越で育った中学生が！
市立博物館の先生方と連携をして！！
地元川越を紹介する！！！！

川越市立博物館・美術館と授業をつくる

実施スケジュール



博学連携の成果

① 地元川越の知識の深まりと地元愛の高まり

博物館を通して学んだ知識を人に伝えることで、さらに生徒自身の知識や考えを深められました。

生徒は、観光客とのふれあいを通じて、客観的に地元川越について考えることができました。

② 博物館を通じた地域人材の活用

博物館職員に加え、博物館から紹介していただいた団体やゲストティーチャーにも学習活動を支えてもらいました。

川越観光サポートを通して、地域との連携の幅が、現在も広がっています。

③ 今後の継続的な指導につながる

担当教員や博物館職員が変わっても、継続的に質の高い観光サポートの活動を行っていくことが可能になりました。連携の広がりによって支えてくださる新しいメンバーも加わり、より一層幅広い視野から活動の質を向上させることができている。

虎の巻

博学連携を成功させる

○学校と博物館との打合せ

学年ごとに博物館と打合せをするのではなく、学年の総合的な学習の時間の担当教員が年度当初に博物館へ行き、顔合わせと打合せを行います。担当が異動したとしても、そこで引き続きがしっかりとできます。

○博物館をフル活用

博物館の「情報」「資料」「人材」「事業」をフル活用します。いつでも博物館に相談できる体制をつくっておくことをお勧めします。

○郷土の魅力を楽しむ

毎年の流れを固定化しておく、年々、内容をグレードアップしていくことができます。（観光案内英語バージョンの追加 新規案内場所の開拓 観光案内の内容拡大 等）

他教科への学習効果

国語

- ・人に伝えるための生きたコミュニケーション能力
- ・相手への言葉遣い・敬語
- ・興味をひく話し方の工夫
- ・文章構成力



主体的・対話的で深い学び
思考力・判断力・表現力
学びに向かう、人間性

社会

- ・郷土川越への愛着と誇り
- ・川越の歴史や地理に関する知識



英語

- ・生きた英語を使う力（英語の4技能）
- ・初対面の相手に英語が伝わる達成感
- ・外国人との交流による英語学習意欲の向上



美術

- ・相手に伝えるためのデザインの工夫



総合的な学習の時間

- ・教科を越えた知識や技能の活用
- ・誰かのためにやりとげたという達成感と自信
- ・人のために役立ったという充実感
- ・失敗を恐れず、立ち向かうチャレンジ精神



学校と博物館・美術館をつなぐ
学びのデザイン

川越市立初雁中学校のデザインの特長
①総合的な学習の時間を柱として各教科とのつながりを重視
②教科との関わりで生徒につけたい力を明示、教科間の関わりを記述。